第○学年　家庭科学習指導案

学校名，クラス

指導者　　　等

**１　題材名**

　　　　　・子供が興味をもちやすく，楽しいネーミングを

**２　題材設定の理由**

1. **題材について**

　　　　　・「児童」または「子供」どちらかに統一して書く

　　　　　・学習指導要領の内容「Ｃ消費生活・環境」の「（１）物や金銭の使い方と買物」のように位置づけを書く

・社会情勢などから家庭科の視点からの問題点やこの題材で育てていきたい資質・能力など

　　　　　・「生活の営みに係る見方・考え方」のうち重視する視点について

　　　　　・中学校学習指導要領とのつながりを書く

1. **児童の実態について**

　　・アンケート結果からみる児童の実態や問題点

　　・これまでの授業の経過から見た児童の様子（成果と課題など）

  **(3)　指導について**

　　　　　・本題材のこれまでの授業の流れと本時の授業の流れ

**(4)　研究主題または研究副主題との関わり**

・研究主題または副主題と関わって，授業を（または題材で）工夫した点等の説明

**３　題材の目標**

○　消費者としての自覚を持ち・・・・・・している。（家庭生活への関心・意欲・態度）

○

　　　　・評価規準の項目ごとに目標を書く

**４　題材の評価規準**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 家庭生活への関心・意欲・態度 | 生活を創意工夫する能力 | 生活の技能 | 家庭生活についての知識・理解 |
|  |  |  |  |

・新学習指導要領への移行期間，評価は現行のままとなっているので，従来通りです。

**５　指導と評価の計画（全○時間）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習過程 | 時　間 | **小 題 材 名**○　ね　ら　い・主な学習活動 | 評価規準・評価方法 |
| 家庭生活への関心・意欲・態度 | 生活を創意工夫する能力 | 生活の技能 | 家庭生活についての知識・理解 |
| とらえる | １ | **１毎日の食事を見直そう**○毎日の食事は多くの食品を組み合わせて…分かる。・給食や毎日の食事を振り返り… | ・毎日の食事や給食を振り返り食事の役割や大切さについて考えようとしている。（ワークシート） |  |  |  |
| 見通す | ２（本時） | 本時の指導を太枠で囲む |  |  |  |  |
| 確かめる振り返る生かす | ３ |  |  |  |  |  |
| ４ |  |  |  |  |  |
| ５ |  |  |  |  |  |
| 家庭 | ○献立にしたがって調理をし，家族との食事を楽しむ。 |
| ６ |  |  |  |  |  |

**６　題材構想図（全○時間）**

　　　児童の主な思考の流れが分かるように作成

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習過程 | 児童の思考の流れ | 他教科等との関連 | 生活の営みに係る見方・考え方 |
| 見通すとらえる振り返る生かす確かめる**中学校との関連**・・・Ｂ衣食住の生活　（1）食事の役割と中学生の栄養の特徴　（2）中学生に必要な栄養を満たす食事　（3）日常食の調理と地域の食文化**目指す子供の姿**・・・栄養のバランスを考えた1食分の献立の立て方を理解し，材料や目的に応じた調理の技能を身に付け，さらに，環境に配慮した調理や後片付けの視点で考えることを通して，食生活をよりよくしようとする子供 | ・食事は主食や汁物，飲み物，おかずを組み合わせて作るんだな。・毎日の食事や給食の栄養のバランスを調べてみよう。・良い献立にするには栄養のバランスが大切なんだな。・家族に晩ご飯の献立を考えるとき，どんなことに気をつけているか聞いてみよう。1次（1時間）毎日の食事を見直そう | 道徳Ｃ－(15)家族の幸せを求めて，進んで役に立つことをすること生活の営みに係る見方・考え方の視点を書く題材全体を貫く問いを書く | 「健　康」　　　　　★家族が健康になる一食分の食事を考えよう |

**７　本時の学習**

　**(1) 目 標**　　※目標のところには「知識・理解」とか「技能」とか評価を書かなくてよい。

　**(2) 展 開**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間（分） | 学　習　活　動 | 指導上の留意点 | 評価規準（評価方法） |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 | １　本時の学習課題を確認する。　・ | ○　・↑学習課題を書く。枠が評価までのびないように。 | ・「５指導と評価の計画」の表と合うように書く・評価の観点は1時間に一つでよい。 |

　**(3) 評価及び指導の例**

|  |  |
| --- | --- |
| 「十分満足できる」と判断される状況 | 「おおむね満足できる」状況(B)を実現した児童が更に質的な深まりや高まりをもっている姿を具体的に想定して書く |
| 「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導 | 支援を必要とする子供を想定して，具体的な手立てを書く |